

よし。

教育委員会が9月16日に開催した、ITに触れるイベント。その中で行われたロボット相撲では、熱い戦いが繰り広げられました。写真は、相手のロボットを押し出し、ガッツポーズをする本波史也（ふみや）くん（小学5年）。（関連記事は19頁）

- 所信表明 2頁
- 平成28年度決算の概要 10頁
- 小・中学校陸上 12頁
- インフルエンザ予防接種のお知らせ ... 15頁

2期目の 所信

8つの重点施策 政策公約5本の柱

ます。村民一丸となつてこの先の村づくり心血を注ぐことが喫要です。

現下の村を取り巻く厳しい情勢の中で、村議会議員の皆さまにおかれましては、村民主役の村政のためにこれまで以上に建設的なご提言を賜りますとともに、未来志向の活力に満ちた地域づくりに向けてなお一層のご理解とご協力をお願い致します。

樋口一葉の「塵中日記」の一部を引用し、現在の気持ちを表現しますと「いかで村民の思いをもととして、変化の理にしたがひ、繁栄と幸福のさまざまなる、施政の上に呼出してしかな」。端的に申し上げますと「村民の思いを大切にし、時代の変化に対応しながら、村の繁栄と村民の幸福をさまざまな形で実現してまいりたい」という思いです。

『村利民福』の精神を持つて、村民の思いと二期目の村政を負託されたその重責を心の中心に据えて、今後の村政運営についての所信の一端を申し述べさせていただきます。

ここにあらためて村民の皆さまに感謝を申し上げますとともに、村民が希求する村づくりの未来像を見据え、夢を実現させてまいれる所存です。

希望に満ちた村づくりを実現するための政治姿勢は、これまで以上に村民の声に耳を傾け、皆様に行政の説明責任を果たすことだと思つてお

ります。皆が故郷に住み続けたいと思うことは当然のことであり、気心の知れた住民同士の幸福感に満ちた暮らしや価値創造の村づくりを推し進めていけるよう一層努めてまいります。

その基本は、田野畑に住んでいる方々を大事にすること、人を手段としない社会をつくることなど、人の心・村民の心の和を大事にするという理念を持つて地域づくりを進めることです。

行政執行においては、政策の説明責任を果たすこと、政策の決定過程を明瞭にすること、政策に村民の意見を聞き入れる柔軟性を持つこと、政策の平等性・公平性を堅持することなどです。

さて、昨今の内外の情勢を見ますと、国際的には北朝鮮によるミサイル発射や核実験の脅威が安全保障上の大きな問題となっています。国内においては、東日本大震災、熊本地震、九州大水害、また岩手県に上陸した平成28年8月末の台風10号など、過去に類を見ない自然災害が至る所で発生しており、これらの対策が急務となっています。

また、少子高齢化の進展は国の財政のあり方をも変え、地域創生の名の下に地方自治体は独自の政策を迫られているなど、本村を取り巻く環

境は依然厳しいものがあります。

東日本大震災・津波において、被災者の方々をはじめ村民の心の中に「生命」「共生」「参加」を尊重すべきという意識の変革がありました。併せて、三閉伊百姓一揆の発頭村としての誇り、人づくりによって村を興し、自らの手で「新生たのはた」を創造する機運の高まりがあります。

これを推し進めるために、平成28年度に策定した「田野畑村総合計画・後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「人口ビジョン」「その他諸計画」を着実に実行するとともに事業の優先度を精査しながら、村民が村の発展を実感できるように全力で取り組む所存です。

どうか村民の皆さまには、村の成長のため、地域の成熟のために引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

その上で、二期目の村政を推進するに当たり理念・根本信条として、『教育立村』『人づくりは村づくり、人が生き(活き)凜乎する村!』を基本姿勢とし、本村の凜乎とした自然観と先人が築いてきた歴史や文化を大切にし、この田野畑の大地で暮らす喜びと共に、人を育む、人づくりは村づくりの理念の下に、村民が希求する村づくりに向けて価値創造の地域づくりを推し進めていきます。

8月6日の村長選挙で再任された石原弘村長が、9月15日に招集された村議会定例会で2期目の所信を表明しました。ここでは、その全文を紹介します。(※一部要約しています)

平成29年第6回田野畑村議会定例会が開催されるに当たり、私はこの度の村長選挙におきまして「村のため、村民のために!」をスローガンに、「産業」「福祉」「教育」「地域創生」「定住化の促進」の5項目を政策の柱とする公約を掲げ、多くのご支援を賜りました。

あらためて、主権が国民に存する日本国憲法を遵守し、公共の利益を図るべき責務を深く自覚し、公約に示した「村づくりは村民主役」の姿勢を堅持しながら、議会をはじめ、村を構成する全ての関係団体が夢を共有し、心を一つにして希望に向けて歩むことが、田野畑村の推進力となり、地域間競争に勝ち抜き、真の地域創生につながるものと信じており

8つの重点施策

人口減少対策について

本村の人口は、平成17年から27年までの10年間で605人減少しており、29年4月1日現在では3566人となっています。こうした状況に歯止めをかけるため、まずは、住んでいる方々を大事にすることを基本とします。U・Iターンの受け入れ、若者、高齢者などの住環境の向上については、「仮称メディカル構想」をまとめて、庁舎建設を含めた将来に渡って住み続けることができる街づくり・地域のへそづくりを進め、総合戦略などの実効性を保っていきたいと考えています。

光ブロードバンドの整備は、教育、産業、観光の振興をはじめ、定住化の大きな選択肢となるものであり、情報発信の強化、若者交流イベントなどの開催、地域づくり実践活動への支援、集落圏ネットワークの形成、行政サービスの高度化、広域連携の検討などこれらの施策を講じること

により、今後5年間の人口減少率を約4%に抑えるとともに、2040年の人口を3000人程度に維持することを目指します。

定住化の具体策と致しましては、前述の「仮称メディカル構想」をできるだけ早急にまとめることで、アクションプランの実効性を確立しようとするものです。

豊かな自然環境の保全

平成28年に策定した第三次田野畑村環境基本計画および環境保全活動の推進、ごみの減量化とリサイクル活動の促進、生活排水の適正処理と合併処理浄化槽の普及促進を実行することにより、本村の望ましい環境の実現を目指すもので、この計画において、地域環境の特徴と特性を生かした樹木サインの環境整備を目指すことにしており、永続的な活動を通して、独自の環境を整備していく計画をまとめました。

花笑みの村づくりも村の政策の大

談対応、医療・介護・福祉の充実、成年後見制度の普及と利活用の促進を図ることにより、高齢者が安心して暮らせる村を目指します。

安全で安心な暮らしの向上

東日本大震災や昨年の台風10号にみられる未曾有の自然災害が想定される今日、一人の犠牲者も出さないという強い決意の下、避難路や一時避難所などの防災施設の整備促進、自主防災組織の育成強化を図るとともに、重篤な病人や不慮の災害によるけが人の搬送のためドクターヘリポートの整備促進を加速させ、安全で安心な暮らしができるように全力で取り組みます。

地域に根差した産業の振興

恵まれた本村の海・山・川は自然環境そのものが、豊富な資源となっております。しかし、こうした第一次産業に従事するいわゆる担い手が年々減少しています。まずはこの第一次産業の担い手を確保することが喫緊の課題であり、特に若者の確保が望まれています。そのために各種助成金の拡充を図り、若者が進んで第一次産業の担い手となるよう人材の確保に努めます。

その上で、産業の再生（働く場づくり）、6次産業化の推進、観光推

進体制の強化、道の駅の機能強化、第三セクターの経営強化、振興特産品生産拡大の支援、企業誘致活動の推進、交流人口拡大のための交通基盤の整備など、地域に根差した産業を振興します。

社会を支える人づくり

私は村長就任以来一貫して、時代が変われども人が主役の地域社会づくり、人が生きる（活きる）地域社会づくり、「教育立村」を村是とし、誇りある歴史とほとぼしる情熱を受け継ぎ、確かな未来を築く村政運営を目指してきました。教育は百年の計であり、地域の持続的な発展のためには、人材育成が大事であることは言うまでもありません。

その上で、田野畑村に生まれ育つ児童・生徒の教育的な選択肢を都会と遜色のないものとするため、ブロードバンドを活用した学習環境の整備と機能強化を図り、教育に集い、互いに高め合う仲間づくり、公営塾の運営、村民参加による人づくり活動の充実、小中連携（一貫）教育、奨学金制度の拡充、地域総合型スポーツクラブによるスポーツ活動、学校（村民）プールの新設、給食センターの整備、地域活動の充実と支援のための事業化など（実証事業を含む）を促進することにより、この

事な項目であり、生活に潤いを与える花のある環境、梅や桜など、鑑賞と果実を生産する環境づくりを含めて、美しい田野畑村を築いていきたいと考えています。

子育て環境の充実

少子化時代にあって安心して子どもを産み育てる環境の構築が急務であり、妊婦に対する支援をはじめとして、乳幼児家庭訪問や相談支援、保育料無料化（給食費を除く）の継続と検証、保育環境とサービスの充実、高校生までの医療費無料化の継続を実施します。なお、「子育ての村づくり」として方針をまとめ、その有り様を明確にしていきたいと考えています。

高齢者への生活のサポート

高齢化の進展に伴い、一人暮らしのお年寄り世帯が増加しており、こうした方々に対する手厚い対策が必要であることから、見守り訪問や相

村の未来を担う子どもたちの豊かな感性、しなやかな発想、限らない夢に向かって挑戦する心を養うための環境づくりに努めます。

震災からの復旧・復興の推進

東日本大震災から6年半が経過し、復旧・復興の全容が見えてきました。昨年の台風10号被害への対応のために現場作業員が不足するなど施工中の復興工事に遅れが生じましたが、防潮堤整備など一部を除いて大方の事業は平成30年度で完了する見込みとなっています。

しかしながら、震災で被災された方、あるいは、大切な人を失った方々の思いに心を巡らせたとき、村民の安心・安全を担う者として「二度と津波で人命を失わない」との思いを一層強くしているところであります。今後は、被災の悲しみが癒えていない方々の「心身のケア」のために訪問事業を行うなど全力を尽くします。

その上で、安全な住環境の整備、地域コミュニティの維持・再生、被災地の土地利用を推進していきま

政策公約5本の柱

■産業政策

(1) 村産業開発公社の株式会社化

たのはた牛乳というブランドがあるものの、搾乳農家が減り、経営者の支援や連携なども困難となつていく現状に対処するため、乳製品加工の促進、牧場経営を含めた一体改革を進め、株式会社化を実現することにより、職員に希望を与え、モチベーションを高め、産業の活性化を図ります。



産業開発公社の株式会社化を目指す（公社の乳製品）

(2) 道の駅を産業の基地として整備

「道の駅たのはた（仮称）」は三陸沿岸道路の整備と連携すべき点が多くあることはこれまでも説明してきました。道の駅は地域に「しごと」を生み出し、来訪者を迎え入れ本村の魅力を発信する玄関でもある。地域創生の拠点になりうる施設であることから、村内外のより多くの声を聞き、村民が親しみを持てる施設整備を目指します。

(3) 若者起業支援

震災は、ある意味では、若者にとって時代を担う責任や覚悟を実感する機会になったのではないかと思うことがあります。

今まで村を引っ張ってきた方々が、豊富な知識や経験を若い世代に伝え、温かい目で見守り育てていくことも、地域の持続的な発展のために肝要ではないかと考えます。そのことによりフロンティア精神のある若者が積極的に起業意識を持ち、村

に集ってもらえるように起業のためのハード・ソフト両面の支援が必要であると認識しています。

(4) 産業のイノベーション

産業全般として、就業者の所得向上・担い手確保をはじめ、抜本的な見直しが必要であることは、共通した認識であり、多くの村民が前例にとられない思い切った取り組みを望んでいます。

関係機関との連携強化を図りながら、地域経済の循環と労働確保など全般に渡る産業の維持とイノベーションのための新たな環境づくりを進めることが、村民が希求するこれからの産業づくりです。その実現に向けて、一つひとつ具現化していきたいと考えています。

■福祉政策

(1) 高齢者村民バス無料化と通院支援

高齢者のサポートについては前述

■教育・人づくり

(1) 高校生までの入学準備金制度新設

村づくりの基本は「人づくり」であり、そのために教育が果たす役割の大きさについては機会があることに述べてきました。

教育を安心して受けられるツールの一つとして、来年度から小学校・中学校への入学時における家計の負担軽減のために入学準備金を新設することを検討します。

さらに、本村には高等教育の施設がなく、中学を卒業と同時に近隣の市町や県内の他管内への進学を余儀なくされ、経済的にも大きな負担を求められていることから、高校入学時における準備金制度の新設についても併せて検討していきます。

(2) 田野畑村女性会議の創設

（女性の感性を生かした村づくり）

男女雇用均等法施行以来、女性の社会進出については、様々な議論がなされ、そのあり方について改善されてきていることは、ご案内のとおりです。しかしながら、本村においては女性の力の活用がまだ十分ではないという意見があることも承知しています。田野畑村女性会議を創設し、女性新聞を発行するなどの活動に対し助成します。

したところでありますが、高齢者が通院・買い物など、生活をする上で効率的に村民バスを利用することができるシステムを構築するために、先進地を視察するなど、最も効率的な制度設計を学び、無料化を前進させることにより、高齢者が安心して外出できるようサポートしていきます。

(2) 高齢者の給食制度の創設

昨年度からの地域包括支援センターの委託実施により、高齢者福祉の機能の充実を図ってきましたが、地域の皆さまから特に要望が多い、食事のサポートについては、現在ボランティアの方々を実施している弁当の宅配事業のみならず、給食制度の導入についても社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの関係機関と調整・協議しながら検討していきます。

(3) 女性の健康診断の強化

全国的に女性の死因の上位に挙げられている乳がん・子宮がんについては、健康診断による早期発見・早期治療が求められています。

しかし、さまざまな事情などで受けられない人が生じないよう村の責任で全員が無料で受診できるように取り組んでいきます。

(3) 高校生までの通学費支援制度創設

本村には高等教育の学校がないことから、近隣の市町、あるいは他管内に進学を余儀なくされている現実があります。こうした生徒に対する家計の出費は多額であり、ひいては大学、専門学校などへの進学を断念せざるを得ないという実態を多数見聞きます。こうしたことから、本村から近隣市町に通学する場合の費用の一部助成について検討します。

■地域創生

(1) 事業評価と財源確保

地方創生を推進する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、①地域資源を活かした新たな雇用の創出、②地域を支えるU・イターンの促進、③結婚・出産・子育て環境の支援、④地域づくり・地域コミュニティの充実、⑤広域圏における協力・連携の推進――の5つを基本目標に、さまざまな取り組みを展開しており、PDCAサイクルによる事業評価と改善を引き続き行います。

また、事業実施に当たっては、国の枠組みにとられない財源確保に努めるため、今後、クラウドファンディング（インターネットによる資金調達）の手法を学びながら、資金獲得に挑戦していきます。



「村民の力を結集して「健康長寿の村づくり」
村民の、村民による、村民のための村づくり」

以上、村民の負託を受け、二期目の村政を担うに当たり、「田野畑村総合計画・後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「人口ビジョン」の推進と、選挙における公約を中心に述べましたが、目的達成のために積極性と実のある展開性を持ちながら、施策を進めていきます。これらの推進に当たっては村内外の厳しい財政状況を認識しつつ、行政改革・地方分権、そして地域創生（地方創生）の流れの中で、変化に対応できる多様性と柔軟性を持つ

た行政運営を進めていく所存です。私は、「人は触れ合いをもつてこそ、生きた情報が生まれる」「どんなに大きな問題があっても人を大事にし、人のつながりを堅持していれば、課題解決の糸口は生まれる」と思っています。一人ひとりが持っている英知を結集し、「人材」を「人材」に変えていくことが、価値創造の村づくりにつながっていくものと信じています。そのためにチャレンジ精神を強く持ちながら、村民の先頭に立って実行

し、村民の力を結集して「健康長寿の村づくり」「村民の、村民による、村民のための村づくり」を実現していきます。議員各位、村民の皆さまにはより一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。村民のために必要な改革については領域にとらわれずに強い決意で臨み、田野畑のイノベーション・価値創造の村づくりの実現に向けて、誠心誠意取り組むことをお誓い申し上げます、所信の表明とします。

■定住化の促進
(1)低価格住宅の整備
現在、移住希望者や村内定住を希望する若者などから空き家に関する問い合わせが寄せられています。村営住宅をはじめ、民間住宅において、長い交流の歴史を持つ早稲田大学からの支援を受けながら、村がさらに発展していくための取り組みを推進していきます。そのためには早稲田大学と連携協定を結び、相互の知識・財産・資源を生かし、教育や産業、地域づくりなどをテーマにした事業を展開していきます。



50年以上の交流がある早稲田大学思惟の森の会

(2)早稲田大学との連携協定による地域創生

「精神のない専門人、心情のない享楽人、この無のものは、人間性のかつて達したことない段階まで登りつめた、と自惚れるだろう」これはマックス・ウェーバーの著書にある言葉です。システムは時がたてばやがて疲労し、廃れゆくもので、いつときの社会を形成してきたことでいかに高みに登りつめたと思っても、人間の心が豊かでなければ、社会が豊かになる事はないという指摘です。このような社会の兆しの中で、多くの会社や個人が取り組もうとして

ても空き住宅の確保が難しい状況となっています。移住希望者や若年層の持ち家取得を推進するため、県産材や村産材を活用した品質の高い低価格住宅を整備し、定住人口の拡大に努めます。(2)仮称メディカルシティ構想（コンパクトシティ）
村内における75歳以上の一人暮らし世帯は107世帯、75歳以上のみの世帯は472世帯（平成29年6月1日現在）と、高齢化の進行は本村

においても喫緊の課題となっています。山間部に暮らす高齢者には、冬場などは村中央部に短期的に住んでいただいたり、高齢者が行動できる範囲内で解決できる買い物支援や交通対策、福祉対策などを講じたりするなど、高齢者が安全で安心して村内に暮らすことができる施策を検討します。さらには、人生経験の多い高齢者と若者が融合した村づくりを推進することにより、生きがいの創造と相互扶助の精神を築いていきます。

若人に期待する村づくり・仲間づくりの風土

いるのが、「美の復権」「美意識を鍛えていこう」という動きです。外部的要因となる物差しだけでなく、内部的な物差し「真・善・美」の『美意識』の物差しを持って歩んでいきたいと思っています。既に若い職員はその旺盛なる気持ちを持って努力し始めています。この気持ちに村内の女性や青年が共感し、その仲間によって村づくりを取り進めることができるよう学び合いの機会を創出する体制を整えていきます。まさに、夢・実現の仲間づくりが始まるのです。

村民1人あたりの
歳出額は 約220万円

総 務 費



一般会計の歳出総額を、
村人口3,566人（平成29
年3月31日現在）で割
りました

土木費



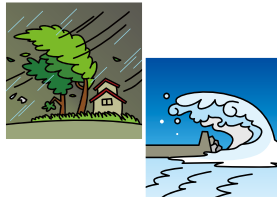
農林水産業費



民生費



災害復旧費



衛生費



公債費



教育費



消 防 費



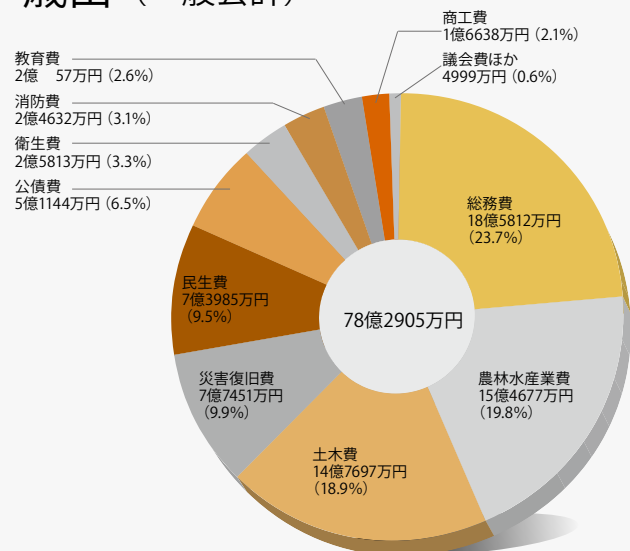
議会費ほか



商 工 費



歳出 (一般会計)



総務費…一般事務や省エネ対策など（光ブロードバンド基盤整備 4 億 8266 万円、災害復興支援職員用宿舍整備 1 億 8391 万円、観光・防災 W i - F i ステーション整備 3579 万円）
農林水産業費…農道や漁港の整備など（鳥越漁港地区漁業集落防災機能強化 3 億 9733 万円、平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化 2 億 197 万円、水産荷捌施設整備 1 億 4077 万円）
土木費…道路や住宅の整備など（村道長嶺線道路改良舗装 5 億 7370 万円、村道田野畑平井賀線整備 2 億 2264 万円）
災害復旧費…道路や漁港、公共施設などの復旧費（漁港施設災害復旧 6 億 4814 万円、公共土木施設等災害復旧 5053 万円）
民生費…障がい者や高齢者福祉、児童館等の運営、災害救助費など（児童館等運営 1 億 3864 万円、自立支援給付 8502 万円、放課後児童クラブ施設整備 5829 万円）
公債費…借金（地方債）の返済に使うお金
衛生費…健康診断やごみ処理など（ごみ処理費用 1 億 3275 万円）
消防費…消防施設整備や消防・救急活動など（ヘリポート整備 3306 万円、画像式津波観測施設管理費 1132 万円）
教育費…小中学校や社会体育施設の整備や運営など（給食センター管理運営費 2074 万円、村マレットゴルフ場管理費 906 万円）
商工費…商工業や観光振興など（中小企業振興資金融資 5099 万円、村観光振興企業経営改善支援 4110 万円）

■決算額（歳出額）の比較 (単位：万円)

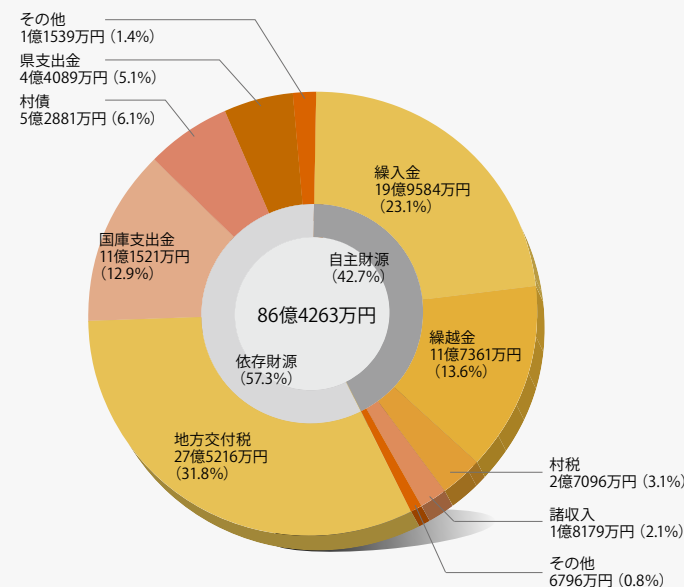
区分			28年度	27年度	伸び率
一 般 会 計			78億2905	98億6147	-20.6%
特別会計	国民健康保険会計	事業直営診療	6億6707	6億8620	-2.8%
			1億1724	1億2170	-3.7%
	簡 易 水 道 会 計		4億8321	7億 557	-31.5%
	集 落 排 水 会 計		1億8219	3億5097	-48.1%
	下 水 道 会 計		2977	4285	-30.5%
	介護保険会計	事業サービス	5億 48	5億1965	-3.7%
			1191	206	478.9%
	後期高齢者医療会計		3597	3589	0.2%
	小 計		20億2784	24億6488	-17.7%
合 計			98億5689	123億2635	-20.0%

平成28年度

決算

歳出総額約99億円
対前年度比20%減

歳入（一般会計）



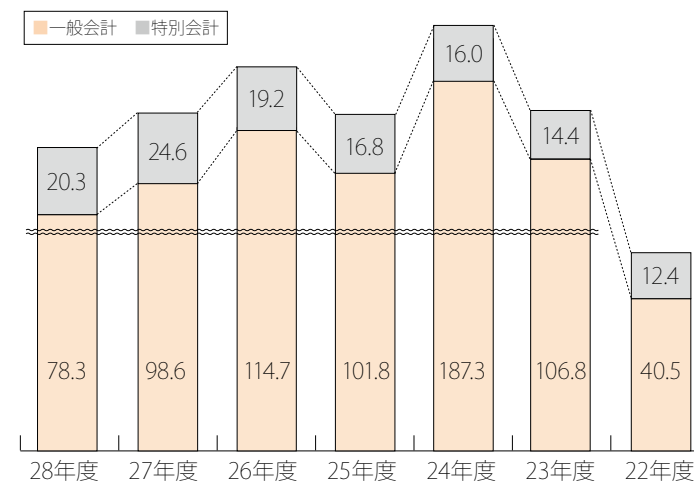
自主財源 (42.7%)

繰入	金…東日本大震災復興交付金基金繰入金など
繰越	金…前年度からの繰越金
村税	…村民税や固定資産税、軽自動車税などの税金
諸収	入…小中学校の給食費や宝くじ収益金交付金など
その他	…使用料および手数料、財産収入、寄付金など

依存財源（57.3%）

地方交付税…国が地方公共団体に国税の一部を交付するお金
国庫支出金…国からの補助金など
県支出金…県からの補助金など
村 債…事業を実施するときに借りるお金
そ の 他…国からの交付金など

■一般・特別会計の歳出額推移（単位：億円）



一般会計の歳出総額は
前年度の20・6%減

一般会計の歳入総額は
86億4263万円。前年度に
比べ23億9245万円（21・
7%）の減額となりました。

歳入減額の主な理由は、前

年度に比べ繰入金が20億8040万円減額になったことなどが挙げられます。なお、歳入総額に自主財源が占める割合を示す自主財源比率は42・7%で、前年度を9・2_{ポイント}下回りました。

一方、歳出総額は78億29

05 万円で、前年度に比べ
20 億 3 2 4 2 万円（20・6％）
の減額となりました。

28 年度に取り組んだ主な事
業は、漁港施設災害復旧事業
（6 億 4 8 1 4 万円）、村道長
嶺線道路改良舗装事業（5 億
7 3 7 0 万円）、光プロードバ
ンド基盤整備事業（4 億 8 2
6 6 万円）、島越漁港地区漁業
集落防災機能強化事業（3 億
9 7 3 3 万円）、村道田野畑平
井賀線整備事業（2 億 2 2 6
4 万円）などです。

特別会計の歳出総額は
前年度の17・7%減

特別会計の歳出総額は20億2785万円で、前年度に比べ4億3704万円（17・7%）の減額となりました。

会計別では、簡易水道特別会計が前年度に比べ2億236万円（31・5%）減額となりました。主な要因は、井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業（2億4315万円）の完了によるものです。

走って。投げて。跳んで。

■男子の記録

区 間	氏名(学年)	記 録	区間順位
1区(3.2㌔)	佐藤 匠(3)	10分20秒	3位
2区(3.2㌔)	工藤 博世(3)	10分48秒	2位
3区(3.2㌔)	熊谷 和真(3)	11分59秒	11位
4区(3.2㌔)	熊谷 哲平(2)	10分37秒	1位
5区(3.2㌔)	長尾 蒼翔(2)	12分11秒	8位
6区(3.2㌔)	佐藤 琉希(3)	11分11秒	2位

■女子の記録

区 間	氏名(学年)	記 録	区間順位
1区(3.2㌔)	熊谷 藍楓(2)	13分07秒	5位
2区(2.2㌔)	角館 七緒(2)	8分39秒	2位
3区(2.2㌔)	佐藤 愛華(1)	8分58秒	2位
4区(2.2㌔)	佐々木 渚(2)	9分29秒	6位
5区(3.2㌔)	佐々木菜名(1)	13分05秒	2位

宮古地区中学校駅伝競走大会

男女ともに3位で県大会へ



県大会出場を決めた駅伝チーム(写真提供:田野畑中学校)

第32回宮古地区中学校駅伝競走大会は8月31日、宮古運動公園陸上競技場で開催され、田野畑中が男女ともに第3位で県大会への出場を決めました。



佐々木優太郎君(6年走幅跳)



君成田 楓 君(6年ソフトボール投げ)



佐藤まつりさん(6年800m)



㊤熊谷寛也君(共通砲丸投)㊤熊谷新二郎君(共通走高跳)㊤工藤博世君(共通 200m)(写真提供:田野畑中学校)



■男子の記録

種 目	順位	氏名(学年)	記 録
1年100m	10位	横田 晃祐(1)	13秒80
2年100m	7位	長尾 蒼翔(2)	13秒11
3年100m	12位	菊地 颯真(3)	13秒41
共通200m	1位	工藤 博世(3)	24秒79
共通400m	6位	佐藤 匠(3)	59秒28
共通800m	2位	工藤 博世(3)	2分10秒07
1年1500m	6位	川畑 颯羽(1)	5分16秒21
2年1500m	2位	熊谷 哲平(2)	4分34秒82
3年1500m	3位	佐藤 匠(3)	4分31秒25
共通3000m	5位	熊谷 哲平(2)	10分00秒60
共通110m ^{ハル}	5位	佐々木大翔(2)	19秒43
共通走高跳	7位	熊谷新二郎(3)	1m50
共通走幅跳	9位	橋本 涼太(3)	4m63
共通砲丸投	9位	熊谷 寛也(3)	7m84
低学年 4×100m ^{リレー}	9位	中村 海翔(1) 長尾 蒼翔(2) 横田 晃祐(1) 佐々木大翔(2)	53秒08
共通 4×100m ^{リレー}	8位	熊谷 和真(3) 工藤 博世(3) 佐藤 匠(3) 菊地 颯真(3)	50秒48

■女子の記録

種 目	順位	氏名(学年)	記 録
1年100m	5位	佐藤 深子(1)	14秒81
2年100m	2位	角館 七緒(2)	14秒05
3年100m	13位	有谷 美晴(3)	15秒93
共通200m	4位	佐藤 深子(1)	30秒89
共通800m	2位	角館 七緒(2)	2分38秒15
1年1500m	3位	佐々木菜名(1)	5分34秒39
2年1500m	3位	熊谷 藍楓(2)	5分44秒83
3年1500m	7位	中村 海希(3)	6分14秒68
共通100m ^{ハル}	10位	畠山 恵衣(2)	22秒14
共通走高跳	11位	君成田 想(2)	1m10
共通走幅跳	7位	工藤 望由(2)	3m68
共通砲丸投	5位	齋藤 未来(2)	7m88
低学年 4×100m ^{リレー}	4位	佐藤 愛華(1) 角館 七緒(2) 熊谷 藍楓(2) 佐藤 深子(1)	58秒41
共通 4×100m ^{リレー}	14位	中村 海希(3) 工藤 望由(2) 佐々木 渚(2) 有谷 美晴(3)	1分02秒48

第50回宮古地区中学校陸上競技大会は8月24日、宮古運動公園陸上競技場で開催され、田野畑中は、総合順位で男子5位、女子4位となり、男女ともに入賞する活躍を見せました。

宮古地区中学校陸上競技大会 総合順位男子5位、女子4位



大きな声で声援を送る

■男子入賞者と記録

種 目	順位	氏名(学年)	記 録
5年以下100m	5位	藤島 琉唯(5)	17秒2
6年100m	1位	佐々木優太郎(6)	15秒3
5年以下1000m	1位	関口 誠(5)	3分34秒1
	5位	北田 航太(5)	4分00秒0
6年1000m	2位	有谷 拓翔(6)	3分44秒8
	3位	工藤 陸大(6)	3分58秒1
5年以下80m ^{ハル}	4位	鈴木 汐音(5)	21秒4
6年80m ^{ハル}	5位	坂本 崇(6)	18秒3
5年以下走幅跳	4位	北田 航太(5)	3m15
6年走幅跳	1位	佐々木優太郎(6)	3m86
	6位	坂本 崇(6)	3m12
5年以下走高跳	1位	関口 誠(5)	1m18
	3位	三浦 空知(5)	1m03
6年走高跳	2位	工藤 陸大(6)	1m15
	3位	有谷 拓翔(6)	1m12
5年以下 ^{ハル} 砲丸投げ	1位	藤島 叶多(5)	41m52
6年 ^{ハル} 砲丸投げ	2位	君成田 楓(6)	47m60
	1位	工藤 陸大(6) 佐々木優太郎(6) 有谷 拓翔(5) 関口 誠(5)	1分01秒8
4×100m ^{リレー}	6位	三浦 空知(5) 坂本 崇(6) 君成田 楓(6) 北田 航太(5)	1分06秒3

■女子入賞者と記録

種 目	順位	氏名(学年)	記 録
5年以下800m	1位	大澤 典佳(5)	2分45秒8
6年800m	1位	佐藤まつり(6)	2分46秒7
	3位	熊谷 陽香(6)	3分00秒9
5年以下80m ^{ハル}	3位	伊藤よつは(5)	18秒9
6年80m ^{ハル}	2位	畠山 弥来(6)	17秒7
6年走幅跳	2位	町平 希凜(6)	3m36
5年以下走高跳	4位	伊藤よつは(5)	1m00
6年走高跳	4位	工藤 友香(6)	1m03
6年 ^{ハル} 砲丸投げ	4位	熊谷 幸芽(6)	33m11
	5位	佐々木咲幸(6)	28m50
	3位	菊地 梓菜(6) 畠山 弥来(6) 佐藤まつり(6) 伊藤よつは(5)	1分06秒1
4×100m ^{リレー}	5位	大澤 典佳(5) 上机 瑠愛(6) 佐々木咲幸(6) 工藤 友香(6)	1分09秒9

下北地区小学校陸上記録会 田野畑小8種目で第1位

インフルエンザの症状は…

- ・38℃以上の発熱
- ・頭痛、筋肉痛、関節痛など

併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、せきなどの症状も出ます。子どもは、まれに「急性脳炎」、高齢者や免疫力が低下している人は「肺炎」を併発するなど、重症になる危険もあります。

インフルエンザ 予防しましょう

朝晩の冷え込みが増してきました。これからの季節は空気が乾燥し、インフルエンザの感染が心配されます。一人一人が気を付けることで、感染や拡大を防ぐことができるインフルエンザ。日ごろから予防を心掛けましょう。

感染を防ぐには 日ごろからの心掛け

インフルエンザに感染した場合、特に体力がない子どもや高齢者、妊婦は重症になりやすいといわれています。インフルエンザに感染しないためには、日ごろからの予防が大切です。

①早めに予防接種を受ける

インフルエンザはいつ流行するか分かりません。ワクチンは効果が出るまでに約2週間かかり、約5カ月持続します（個人差があります）。流行してからではなく、早めに予防接種を受けましょう。子どもの感染を防ぐためには、家族など周囲の大人が接種することとても重要です。

②うがい・手洗いをこまめに

外から帰ったら、ガラガラとどの奥までうがいをし、石鹸を使って、手全体をしっかりと洗いましょう。手洗いの後に、アルコールで消毒すると効果的です。

③マスクの着用

外出するときはマスクを着用し、なるべく人ごみを避けましょう。また、せきやくしゃみが出たら周りの人への感染を防ぐため、マスクを必ず着用してください。

④休養とバランスの良い食事

病気に対する抵抗力や体力を高

幼児・小・中学生の接種は完全予約制

村は、11月からインフルエンザ予防接種を実施します。本年度から幼児・小学生・中学生は完全予約制となりますので、注意してください。

- ◆実施期間…11月1日(木)～12月28日(木)
- ◆対象者…満1歳以上の村民
- ◆場所…国保田野畑村診療所
- ◆接種料…無料
- ◆受付時間

- ①高校生・一般…通常の診療受付時間
- ②幼児・小学生・中学生（月・木曜日）
- (1) 幼児…午後3時45分～午後4時
- (2) 小・中学生…午後4時～4時30分

※当日の午前中までに予約してください。予約は10月23日(月)から受け付けます。予約状況によっては希望する日に接種できない場合もあります

- ◆持ち物…予診票、母子健康手帳（高校生以下）、予防接種手帳（65歳以上で持っている人）
- ◆その他…①村外の医療機関での接種を希望する人は、事前に保健福祉課（保健センター）へ申請してください②村に住所の無い人は有料となります
- ◆予約・問い合わせ先…国保田野畑村診療所(☎33-3101)

予防接種は早めに受けましょう

めるためには、十分に休養を取り、バランスの良い食事を取ることが大切です。規則正しい生活を送り、感染しない体をつくりましょう。

もし、それでも 感染してしまったら

うがいや手洗い、予防接種など、予防をしても感染してしまう場合もあります。もし、インフルエンザの症状がみられたら次の⑤～⑥に注意しましょう。

⑤早めに医療機関で受診

急な発熱などインフルエンザ感染の疑われる症状が現れたら、早めに医療機関で受診しましょう。

⑥自宅で安静にして休養

新たな感染者をできるだけ増やさないよう外出を自粛し、医師の指導に従って自宅で安静にして休養。熱が下がっても感染力が無くなったわけではありません。

少なくとも熱が下がってから2日目まで、できれば発熱やせきなどの症状が始まった日から8日目までは外出を控えましょう。

◆問い合わせ先：保健福祉課(☎33-3102 内線52)

宮古地区新人大会 女子バレーボール部 優勝。県大会へ



9月9日から11日までの3日間、宮古市や山田町などの会場で開催された、平成29年度宮古地区中学校新人大会。田野畑中学校女子バレーボール部が優勝を飾り、県大会への出場を決めました。

9、10日に小本中学校を主会場に行われた、女子バレーボール競技で田野畑中は初戦、小本中と対戦し、苦しみながらもセットカウント2対1で勝利。その後は、危なげない試合運びで1セットも落とすことなく決勝へ進出。決勝では、第1セットを接戦の末落とすも、第2、第3セットを連取し、逆転勝利。見事優勝で県大会への出場を決めました。

キャプテンの工藤望由さん（2年）は「昨年は、部員が3人で新人大会へ出場できずに悔しい思いをしました。その悔しさをばねに練習を頑張ってきました。最初で最後の新人大会で優勝することができて、みんなであれし涙をながしました」と喜びを話しました。

部長の君成田想さん（2年）は「県大会の目標はベスト4です。攻めるサーブで相手を崩し、粘り強いプレーを心掛けたいです」と意気込みを語りました。

大会期間中各会場では、田野畑中学校の生徒が熱い戦いを繰り広

げました。各競技の主な試合結果は、次のとおりです。

●女子バレーボール 優勝

予選リーグ
田野畑 2-1 小本
田野畑 2-0 川井

●女子バスケットボール 3位

田野畑 97-31 岩泉
田野畑 48-86 山田
3位決定戦

●男子バスケットボール

田野畑 80-62 宮古一

●軟式野球

田野畑・小川 0-5 崎山・小本

●男子卓球 団体戦

予選リーグ
田野畑 1-3 宮古西
田野畑 1-3 安家

田野畑 1-3 新里
田野畑 0-3 岩泉

田野畑 0-3 川井
田野畑 0-3 崎山

●女子ソフトテニス 団体戦

予選リーグ
田野畑 1-2 花輪
田野畑 1-2 豊間根



強烈なスパイクを打ち込む工藤望由さん



小川との合同チームで挑んだ軟式野球



佐々木菜名さんのレイアップシュート

フォトコンテスト作品を募集しています

- ◆募集部門
- 【自然・景観部門】
- 海や山などの自然風景
- 【ひと・文化・催事部門】
- 暮らし、伝統芸能、三陸鉄道など
- ※各部門ともカメラの部、スマホの部
- ◆表彰（賞金、賞状、オリジナル切手）
- 最優秀賞（1点）…賞金5万円
- 部門優秀賞
- 【カメラの部】（各部門1点）…賞金3万円
- 【スマホの部】（各部門1点）…賞金1万円
- たのはた三鉄賞
- 【カメラの部】（各部門1点）…賞金3万円
- 【スマホの部】（各部門1点）…賞金1万円
- ◆応募期限…平成30年1月5日（金）
- ◆その他…応募には要件があります。詳しくは、村ホームページを確認するか問い合わせてください
- ◆応募・問い合わせ先…政策推進課「田野畑村フォトコンテスト」担当（〒028-8407 岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143番地1 ☎0194-34-2111）



- 現在5人の隊員が活躍中
地域おこし協力隊を募集します
- 村では、現在5人の地域おこし協力隊が観光振興や移住定住、特産品開発などの業務を行っています。
- 村は、観光誘客の推進を担当する地域おこし協力隊を募集します。勤務条件や応募方法など詳しくは、村ホームページを確認するか問い合わせてください。
- ◆募集業務…①観光振興団体と連携したインバウンド・体験型観光の誘客推進業務
②ホテル羅賀荘の商品企画・運営③ホテル羅賀荘の通常業務など
- ◆募集人員…1人
- ◆対象者…次の①から⑦のすべてを満たす人①20歳以上40歳以下（平成29年9月1日現在）、②三大都市圏をはじめとする都市地域など（※）に住所を有し、地域おこし協力隊として任用後に村に生活の拠点を移し、
- 住民票を異動させることが可能、③心身ともに健康で、地域住民と協力しながら、地域の活性化に積極的に取り組む熱意と意欲がある、④普通自動車運転免許を取得している、⑤パソコン（ワード、エクセル、インターネットなど）の一般的な操作ができる、⑥任期終了後も継続して田野畑村に定住のうえ就業、起業しようとする意志がある、⑦地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない
- ◆採用予定日…平成30年1月以降
- ◆応募期限…10月25日（水）
- ◆応募・問い合わせ先…政策推進課地域おこし協力隊募集担当（〒028-8407 岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143番地1 ☎0194-34-2111）

※地域要件…①埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県の区域の全部
②札幌市、仙台市、新潟市、静岡市、浜松市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市のうち、総務省が定める条件不利地域以外の地域

職員数などの状況

■採用と退職の状況

区 分	平成28年度	平成27年度
採用者数	10人	9人
退職者数	10人	8人

■職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分	平成29年	平成28年	増減
一般行政部門	53人	54人	－1
特別行政部門	4人	5人	－1
公営企業等会計	12人	12人	±0
合 計	69人	71人	－2

給与などの状況

■人件費の状況（28年度一般会計決算）

歳出額 A	人件費 B	人件費率B／A	27年度人件費率
78億2905万円	7億0016万円	8.9％	7.0％

■給与費の状況（29年度一般会計予算）

給与費合計	給料	職員手当	期末・勤勉手当
3億3705万円	2億1218万円	4143万円	8344万円

※特別職や非常勤職員の給与などは含まれていません

■平均給料月額と平均年齢（29年4月1日現在）

区 分	田野畑村		県（28年4月1日現在）	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	29.2万円	43歳3カ月	32.8万円	43歳7カ月

■期末・勤勉手当の状況（29年6月1日現在）

区 分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.6月分
勤勉手当	0.85 月分	0.85 月分	1.7月分
計	2.075月分	2.225月分	4.3月分

■特別職の報酬などの状況（29年6月1日現在）

区 分	報酬等月額	期末手当
村 長	655,000円	6月期…1.625月分 12月期…1.625月分 計…3.25 月分
副村長	538,000円	
議 長	235,000円	
副議長	189,000円	
議 員	170,100円	

■ラスパイレス指数の状況

区 分	平成28年	平成27年	平成26年
田野畑村	92.4	89.6	89.4
県内平均	97.2	95.3	95.2
県内順位	32位	33位	33位
市町村数	33市町村	33市町村	33市町村

※ラスパイレス指数…国家公務員の平均給与月額を100とした度合い

村の職員数や給与など

人事行政状況を公表

村職員の人事行政について次のとおり公表します。





ミニカーを動かすプログラミングを体験する小学生

小学生がプログラミング体験

教育委員会は9月16日、小学生にITを身近に感じ、興味を持ってもらおうと、プログラミングの体験会を開催。親子12人が参加しました。参加者は、コミュニケーションロボット「パルロ」とクイズや体操を楽しんだり、タブレット端末を使いミニカーを動かすプログラミングを体験。ITへの理解を深めました。本波史也くん（小学5年）は「プログラミングは難しかったけど、楽しかったです。また参加したいです」と笑顔を見せました。



真剣な表情でタブレットに向かう



パルロと体操を楽しむ



講師を務めた富士ソフト(株)の皆さん

小中学生が外国文化に触れる

村青少年育成村民会議と教育委員会は9月2日、アズビィ体育館で国際交流キャンプを開催しました。今年で3年目となる同キャンプには、小中学生やアラム大学の学生、早稲田大学思惟の森の会の学生31人が参加。雨の影響で体育館での開催となりましたが、アメリカンドッジボールや昼食作りなどを通じて交流を深めました。畠山歩さん（小学6年）は3回目の参加。「外国の人たちと話しができて楽しかったです。来年も参加したいです」と話しました。



みんなで協力して昼食のおにぎり作り



キャンプの感想を絵で描く



ボールが6個。アメリカンドッジボール



笑顔で記念撮影する参加者の皆さん

長寿祝う敬老会であふれる笑顔

村は9月9日、多年にわたり社会に尽くしてきた皆さんを敬愛し、長寿をお祝いしようと、75歳以上の村民を対象に、ホテル羅賀荘で敬老会を開催。122人の皆さんが参加しました。会場では、石原弘村長や工藤求村議会議長をはじめ約20人の来賓の皆さんが、長寿をお祝いしました。

本年度の敬老会では、米寿を迎えられた方々に、長寿をお祝いして記念品を贈呈。当日出席した、工藤寛さんに石原村長から金杯が贈られました。

その後、参加した皆さんは、会話を弾ませながら会食。余興では、民謡ショーを披露した、「佐野よりこ一行」に大きな拍手を送っていました。会場は、参加者の大きな笑い声と笑顔があふれ、和やかな空気に包まれていました。



④長寿を祝い乾杯をする皆さん/⑤余興では飛び入りで踊りを披露

工藤 寛さん
＝島越＝

①早寝・早起き。午前5時に起きて、寝るのは午後8時②歌番組を見ること

佐々木 弁藏さん
＝甲地＝

①好き嫌いせず何でも食べること②ニュース番組を見ること

米寿を迎えた
皆さんに聞いた
①健康の秘訣
②今の楽しみ

田河原 ナミヨさん
＝浜岩泉＝

①家族に大切にされて幸せなこと②デイサービスで仲間の顔を見たり、話すこと

佐々木 善勇さん
＝尾肝要＝

①何でもよく食べ、適度に体を動かすこと②施設にいる妻に会いに行くこと



サップ船から浮輪を投げ転落者を救助

海の事故に備え海難救助訓練

体験村・たのはたネットワークでは9月15日、机漁港で海難救助訓練を行いました。訓練には、サップ船アドベンチャーズの船長など10人が参加。宮古海上保安署や宮古消防署田野畑分署の職員から海中転落者の救助や応急手当、海難信号の発信の方法などの指導を受けました。

中机義廣さん(66)＝机＝は「いざ事故が起こったときに落ち着いて行動できるかが重要。日頃からの訓練が大切だと感じた」と話しました。

外国人教育旅行誘致に向けて

本村と普代村が連携して、インバウンド教育旅行受け入れのための研修会を9月6、7日の両日、本村を会場に開催。両村の民泊受け入れ家庭などから約40人が参加しました。講師を務めたのは、全国で体験型観光をテーマに講演などを行っている(株)体験教育企画の藤澤安良代表。参加者は初日、ホテル羅賀荘で講義を受け、翌7日は、根木地徳栄さんの自宅と白花シャクナゲ荘を訪れ、民泊受け入れの流れやコミュニケーションのとり方などを学びました。



民泊家庭で研修を受ける参加者の皆さん

JAPAN田野畑が県大会へ

第40回東日本軟式野球大会2部岩手県予選下北予選は8月6、20日の両日、岩泉町の龍泉洞グラウンドで開催され、JAPAN田野畑が優勝。県大会出場を決めました。本村と岩泉町から6チームが参加した本大会。決勝では、下北ピストルズ(田野畑)を延長戦の末5対4で破り、初優勝を果たしました。千葉松男さん(52)＝切牛＝は「チームが一丸となり、優勝することができてうれしい。県大会では、一回戦突破を目標に頑張りたい」と話しました。



優勝したJAPAN田野畑の皆さん(写真提供：JAPAN田野畑)

空から楽しむ明戸地区の景色

村は9月16日、若者交流イベント「ドローン操縦体験会とウクレレ演奏体験会」を開催しました。明戸キャンプ場で行われた、ドローン操縦体験会には、滝沢市や大槌町など村内外から19人が参加。宮古市のドローンストア SORA-YAの山崎善照さんから操縦方法を教わり、参加者はドローンの操縦や空から見る明戸海岸などの景色を楽しみました。山崎さんは「田野畑村は景色がきれいなところがたくさんある。ぜひまた開催したい」と意欲を見せました。



ドローンの操縦を体験する皆さん



岩見ヒサさんの墓前に手を合わせる参加者の皆さん

岩見さんの思い出を語り合う

岩見ヒサさんをしのぶ会(同実行委員会主催)が9月17日、宝福寺で行われ、約30人が故岩見ヒサさんとの思い出を語り合いました。交流会では、昭和44年にテレビ放送され、岩見さんの保健師としての活動などを紹介した「ある人生 田野畑物語」を上映。参加者は、岩見さんとの思い出話を膨らませていました。岩見さんの孫にあたる宝福寺の具行住職は「多くの人に集まって頂き、祖母も喜んでいてと思います」と感謝の言葉を話しました。

田代地区で森林作業道研修会

田代地区・山林利用の会(金子正典代表)では、9月9、10日の両日、田代地区の山林などで作業道研修会を開催。村内外から17人が参加し、山林の手入れのための作業道の作り方などを学びました。研修では、奈良県から講師を招きミニバックフォアを使用した実際の作業などを体験。金子代表は「2回目の開催を検討している。山林の手入れをしたいと思っている方や木を切っても道路がないため出せないという方に参加してほしい」と呼び掛けました。



ミニバックフォアを使用した作業を見学する参加者の皆さん

若桐保育園とたのはた児童館 入園・入館申し込みを受け付けます

村は、平成30年度の若桐保育園の入園者とたのはた児童館の入館者の申し込みを受け付けます

◆申し込みが必要な児童

①若桐保育園に入園を希望するすべての園児

※現在、入園している園児についても、改めて入園申込書を提出してください。

②3歳以上で新たに、たのはた児童館に入館を希望する園児
※現在、入館している園児につ

いては、申し込みは不要です。

◆申込書：対象者に郵送します。現在、若桐保育園に入園している園児については、園で配布します。

◆受付期間：10月16日(月)～27日(金) (土・日・祝日を除く)

◆受付時間：午前8時30分～午後5時15分

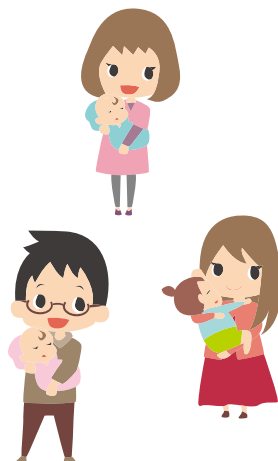
◆申し込み・問い合わせ先：生活環境課 (☎34-2114 内線22)

3人以上の育児サークルが対象 在宅での育児を支援します

村は、在宅で3歳未満の育児を行っている保護者などが、3人以上のサークルを作り育児を行った場合、奨励金を交付します。児童館、保育園の未利用者が対象です。

サークルでの育児は、2時間を1単位とし、1人当たり1500円を交付します。1日に4単位まで申請することができます。申請書は、役場窓口で配布します。

◆申し込み・問い合わせ先：生活環境課 (☎34-2114 内線22)



和野地内の建物2棟と動産一式 差し押さえた財産を公売します

村は、税金滞納者から差し押さえた財産を公売します。入札は誰でも参加できます。

なお、当日持参するものなど詳しい内容は、事前に担当課に問い合わせてください。

◆入札日時：10月5日(木)

午後1時30分～

◆場所：役場第1会議室

◆その他：公売物件などの詳細は、税務会計課に備え付けてある「公売広報」を確認してください。また、公売を中止する場合もありますので、公売実施の有無は税務会計課に問い合わせてください。

◆問い合わせ先：税務会計課 (☎34-2112 内線32)

◆公売物件と見積価額

公売財産	床面積	最低見積価額	公売保証金
和野地内の建物2棟 および建物内動産一式	657.5㎡	111万円	12万円

●「公売」とは…

村が国税徴収法などの法令に基づき、滞納者から差し押さえた財産を売却する手続きです。

庁舎前の公告板などでお知らせした後、指定の公売会場で実施します。

参加者が入札書に金額などを記入して入札し、高値の落札者に公売財産を売却します。売却代金は滞納者の税金に充てられます。

村は税の公平性を確保するため、岩手県地方税特別滞納整理機構と連携しながら公売を含めた滞納処分を強化し、村税滞納の解消に努めています。

農業委員会制度が変わりました 農業委員などを募集します

区 分	農業委員	農地利用最適化推進委員
業務内容	○農地の権利移動や農地転用などについての許可の決定	
	○担当地域の農地利用の最適化に関する現場活動 (担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進) ○農地パトロールなどの現場活動 ○その他、農業委員会に係る業務	
募集人数	7人	5人
応募資格	村内に住所を有する人で、農業の識見を有し、農地などの利用やその他の農業委員会業務を適切に行うことができる人	
任期	平成29年11月27日から平成32年11月26日まで(3年間)	
報酬(年額)	会長：237,500円 委員：142,500円	142,500円
応募方法	応募用紙に必要事項を記入のうえ、持参か郵送で提出してください。応募用紙は、農業委員会事務局で配布しているほか、村ホームページからもダウンロードできます	
応募期限	10月31日(火)	
その他	○農業委員と農地利用最適化推進委員を兼務することはできません ○個人、団体などからの推薦も可能です ○応募、推薦の状況は村ホームページで公表します(住所・生年月日を除く)	
応募・問い合わせ先	〒028-8407 田野畑村田野畑143番地1 田野畑村役場 農業委員会事務局 (☎34-2111 内線91)	

新たなのはた21世紀学園 シニア講座 ろくろを使用した本格陶芸教室

教育委員会は、生涯学習として「本格陶芸教室」を開催します。今回は、電動ろくろを使用した本格的な成形を体験することができます。

◆日時：10月24日(火)

午前10時～正午

◆場所：北限の民窯 小久慈焼

◆講師：小久慈焼 下嶽智美さん

◆対象：60歳以上の村民

◆定員：先着10人

◆参加費：1000円



◆受付期間：10月4日(木)～17日(火)

◆送迎：アズビィ学習センターから会場まで送迎します。現地集合も可能です

◆申し込み・問い合わせ先：教育委員会 (☎34-2226 内線11)

全測定箇所で見安以下 放射線量測定結果のお知らせ

◆検査結果(測定日・9月11日)

測定場所	平均測定値 (3分間/時)
田野畑小学校	0.059
田野畑中学校	0.067
たのはた児童館	0.056
若桐保育園	0.057
役場	0.080
アズビィ学習センター	0.075
村宮野球場	0.033
思惟大橋公園	0.048
北山崎園地	0.064
旧山海ろばたハウス	0.086
鵜の巣断崖園地	0.065

◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)を下回りました

◆問い合わせ先…生活環境課 (☎34-2114 内線22)

お知らせ

知 最低賃金は 738 円です

岩手県最低賃金が、10月1日から時間額738円となりました。

最低賃金は、県内で働くパートタイマー・アルバイトなどを含む全ての労働者に適用されます。賃金額が、時間額 738 円を下回っている場合は、10月1日以降の賃金額を738円以上となるように是正する必要があります。詳しくは、問い合わせてください。

◆問い合わせ先…岩手労働局労働基準部賃金室（☎ 019-604-3008）

知 公証相談会を開催します

日本公証人連合会では、10月1日から7日までを「公証週間」とし、公証相談会を開催します。

◆日時…10月1日(日)～7日(土)
午前9時30分～午後4時
◆場所…宮古公証役場（陸中ビル2階）
◆相談内容…契約や遺言の公正証書について
◆相談料…無料
◆問い合わせ先…宮古公証役場（☎ 0193-63-4431）

知 無料法律相談会を開催

◆日時…10月2日(月)
午前10時～午後3時30分
◆場所…岩手県産業会館
◆内容…岩手弁護士会所属の弁護士が、日常のさまざまなトラブルについて、法律的にアドバイスします
◆問い合わせ先…岩手弁護士会（☎ 019-651-5095）

募 バドミントン交流会開催

村スポーツクラブでは、バドミントン交流会を開催します。大会のような厳しいルールはありません。初心者でも楽しめる交流会です。

◆日時…11月12日(日)
午前9時～午後1時
◆場所…アズビィ体育館
◆参加費…200円
◆申込期限…11月1日(水)
◆申し込み・問い合わせ先…村スポーツクラブ（☎ 34-2226）

知 精神保健福祉大会を開催

岩手県精神保健福祉協会では、県民の皆さんに精神保健福祉の理解や普及啓発を図るため、岩手県精神保健福祉大会を開催します。

◆日時…10月13日(金)
午後0時30分～4時
◆場所…宮古市民文化会館
◆内容…シンポジウム「地域で安心した生活を送るために必要なこと」、目で見るところの健康展など
◆その他…当日の参加も可
◆申し込み・問い合わせ先…宮古山口病院（☎ 0193-62-3945）

知 成年後見相談会を開催

岩手県司法書士会では、無料成年後見相談会を行います。
◆日時…10月14日(土)
午前10時～午後3時
◆場所…岩手県司法書士会館（盛岡市本町通2-12-18）
◆電話相談…0120-823-815
◆問い合わせ先…岩手県司法書士会（☎ 019-622-3372）

募 参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

知 みんなで守ろう建築ルール

10月15日(日)から21日(土)までの1週間は、違反建築防止週間です。

この取り組みは、建築基準法の目的や制度について認識を深め、安全で住みよい街づくりのために違反建築をなくすことを目的としています。

岩手県では、10月18日(水)に週間行事として公開一斉パトロールを実施します。

また、週間中は、県庁の県土整備部建築住宅課または県内の広域振興局土木部に建築相談所を設置し、建築に関する相談に応じます。

◆問い合わせ先…岩泉土木センター（☎ 0194-22-3116）

募 食中毒・感染症対策を考える

岩手県で発生件数が一番多い食中毒は、ノロウイルスとなっています。

岩手県では、食品衛生の正しい知識の普及とともに、食中毒の発生、施設での感染拡大を防止するためシンポジウムを開催します。

◆日時…10月30日(月)
午後1時30分～4時10分
◆場所…アイーナ（いわて県民情報交流センター）
◆内容…ノロウイルスによる健康被害について、基礎知識や具体的な対策を学ぶ講演など
◆入場料…無料
◆定員…400人
◆申込期限…10月13日(金)
◆申し込み・問い合わせ先…岩手県環境生活部県民くらしの安全課（☎ 019-629-5322）



9月3日村長杯争奪野球大会。参加者の皆さん（写真提供：村野球協会）

知 リウマチ医療講演会・相談会

◆日時…10月8日(日)
午後2時～4時
◆場所…ふれあいランド岩手
◆講演…演題「関節リウマチ患者の骨粗しょう症の変遷」
◆参加費…無料
◆その他…同会場にてリウマチに関する写真パネル展を開催
◆問い合わせ先…日本リウマチ友の会岩手支部（☎ 080-1828-1962）

募 林業アカデミー研修生を募集

岩手県では、林業への就職を志望する人を対象に、林業の知識や技術を体系的に習得できる「いわて林業アカデミー」の平成30年度研修生を募集します。

◆研修期間…1年間
◆応募資格…高等学校卒業者でおおむね30歳までの人
◆募集期間
○一般選考（前期）
10月10日(火)から27日(金)まで
○一般選考（後期）
12月4日(月)から22日(金)まで
◆申し込み・問い合わせ先…岩手県林業技術センター研修部（☎ 019-697-1536）

知 介護の仕事出張相談会

◆日時…10月11日(水)
午後1時～3時
◆場所…岩泉町小本津波防災センター
◆対象者…福祉の職場に関心のある人や就労を希望する人
◆問い合わせ先…岩手県福祉人材センター宮古（☎ 080-8201-0199）

知 粗大ごみの再生品を譲渡

宮古地区広域行政組合では、回収した粗大ごみの中から再利用できるタンス、テーブルなどを再生し、希望者に無償で譲渡します。

◆日時…10月13日(金)～15日(日)
午前9時～午後4時
◆場所…宮古地区広域行政組合再生品ストックヤード（宮古市崎山第6-122-1）
※駐車場には限りがあります
◆利用資格…田野畑村、宮古市、山田町、岩泉町に居住する人
※再生品の再販売を目的とする場合は、利用できません
◆その他…引き取りに掛かる費用は自己負担となります
◆問い合わせ先…宮古地区広域行政組合施設課（☎ 0193-64-7111）

知 多重債務出張個別相談会

◆日時…10月12日(土)
午前11時～午後3時
◆場所…役場第2会議室
◆内容…専門相談員が多重債務などの相談に応じます。
◆申込期限…10月11日(水)
◆申し込み・問い合わせ先…東北財務局盛岡財務事務所（☎ 019-622-1637）

人も、会社も、元気にしよう！

中退共の退職金制度

「中退共」は国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

詳しくはホームページをご覧ください [中退共 検索](http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/) <http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03)6907-1234

安全 国の制度だから安心
掛金の一部を国が助成します。

有利 掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

簡単 社外積立で管理が簡単
退職金試算額などもお知らせ。

○パートタイマーさんも加入できます。
○他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。

人口と世帯

9月1日現在（ ）は前月比
人口 3,551人（- 8）
男 1,765人（- 3）
女 1,786人（- 5）
世帯 1,444世帯（- 5）

火 災

（8月21日～9月20日）
火 災 の【今月】 0件
発生件数【今年】 0件
無火災の連続記録
（9月20日現在） 399日

募 みちのく潮風トレイルを歩こう

陸中海岸青少年の家では、姉ヶ崎（宮古）トレッキングを開催します。トレッキングを通して美しい三陸の海や山の自然にふれてみませんか。

◆日時…10月28日(土)
午前9時30分～午後3時30分
◆行程…潮吹穴→姉ヶ崎展望台→震災メモリアルパーク中の浜
◆対象者…小学生以上
◆定員…30人程度（先着順）
◆参加費…300円（保険料など）
◆申込期間…10月14日(土)から17日(火)の午前9時～午後5時
◆申し込み・問い合わせ先…陸中海岸青少年の家（☎ 0193-84-3311）

知 無料体験ダイビング開催

◆日時…10月15日(日)
①午前9時～②午前11時～③午後1時～（体験プログラムは1時間30分程度です）
◆場所…机浜
◆定員…各回先着4人
◆対象…身長155cm以上で11歳以上の人
◆申し込み・問い合わせ先…たのはたダイビングサービス（☎ 33-2881）

？ 広報クイズ ？

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課に10月20日までにお送りください。正解者の中から抽選で1名様にプレゼントが当たります。

Q 下北地区小学校陸上記録会。田野畑小が1位を獲得した種目数は？

A) 8種目
B) 5種目
C) 10種目

■前号(9月号)の正解
Q1→B

■先月当選者(敬称略)
熊谷 正初(田野畑)

おめでた おくやみ

〔平成29年8月届け出分〕
(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
富成 伸一(しんいち)くん
拓郎・直子 大 芦
早野 成惺(なるせ)くん
真・綾乃 羅 賀

■安らかに ～お悔やみ～
長久保 平次郎 (80) 北 山
沼 平 宇三郎 (94) 西和野
畠 山 勇 雄 (75) 田野畑
佐々木 キヨサ (90) 七 滝
泉 山 重 行 (65) 西和野
伏 山 忠 勝 (85) 甲 地
根本地 弘 光 (71) 明 戸

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出てください

編集ごぼれ話

9月16日、教育委員会が開催した「写真講座」の取材に行ってきました。講師は、広報たのはたのOBの佐々木和也主任主査。取材に行っただけでなく、撮影した写真を見せ合っている皆さんの笑顔が印象的でした。▼皆さんも、写真を撮影してフォトコンテストに応募してみませんか。(佐々木 歩)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況
(9月20日現在)

寄付金総額	5360万1788円 820件 (村内128件、県内190件、県外502件)
取り崩し額	1294万5210円
基金残額 (運用益を含む)	4072万2299円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。☎ 34-2111 内線 15

役立ちカレンダー

期間：10月1日(日)～10月31日(火)

月 日	行 事	場 所	時 間	問い合わせ先
10月1日 (日)	たのはた村産業まつり たのはたのココロ盆踊り大会	アズビィ施設周辺	9:30～14:50 15:00～17:15	産業振興課(内線71) 政策推進課(内線66)
2日 (月)	国民健康保険税4期 納期限 介護保険料4期 後期高齢者医療保険料3期 納期限			税務会計課(内線31) 生活環境課(内線21)
3日 (火)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(16、23、30日も開催)	20:00～21:00	
4日 (水)	アズビィ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビィ体育館(10、17、24、31日も開催)	18:00～19:00	教育委員会(内線11)
6日 (金)	健康教室～血圧管理について～	保健センター	13:30～15:00	保健福祉課(内線52)
10日 (火)	健康相談・健康教育	保健センター	10:00～11:00	
11日 (水)	アズビィ健康スポーツ教室「ピラティス教室」	アズビィホール	10:00～12:00	教育委員会(内線11)
12日 (木)	リラックスかふえ	保健センター	10:00～11:40	保健福祉課(内線52)
15日 (日)	村駅伝競走大会	村内コース	9:30～12:00	教育委員会(内線21)
18日 (水)	幼児健診	健診センター	12:20～15:30	保健福祉課(内線53)
21日 (土)	たのはたっ子運動クラブ「転がる教室」	アズビィ体育館	10:00～11:00	教育委員会(内線11)
27日 (金)	アズビィ健康スポーツ教室「ピラティス教室」	アズビィ体育館	18:30～20:00	教育委員会(内線21)
28日 (土)	村民文化展(10月31日(火)まで)	アズビィ楽習センター	8:30～18:00	生活環境課(内線22)
29日 (日)	秋の一斉清掃	村内各地区	6:30～8:30	税務会計課(内線32)
31日 (火)	村県民税3期 納期限 国民健康保険税5期 納期限 介護保険料5期 後期高齢者医療保険料4期 納期限			税務会計課(内線31) 生活環境課(内線21)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・田野畑方面)

月 日	場 所	時 間
10月24日 (火)	平井賀郵便局 グルーブホームつくえ付近 田野畑郵便局	9:35～9:50 10:10～10:25 10:45～11:00

◆おきなぐさコース(沼袋方面)

月 日	場 所	時 間
10月25日 (水)	産直プラザ尾肝要 リアス倶楽部付近 沼袋郵便局	9:50～10:05 10:10～10:25 10:30～10:45

◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)

たのはた暮らし No.10

地域おこし協力隊の

6月、以前から進められてきたゆるキャラの製作担当を任せられました。何か手伝う事ができればと思っていたのでうれしかったのですが、お披露目まで時間がない! そんなキャラクターにするのか? 全く新しいキャラクターを作っている時間はないので、田野畑村で絶大な人気を誇る「あのキャラ」にお願いすることになりました(笑)。

今まで連絡を取っていた業者にひとまず相談してみると、「そのゆるキャラのデザイン画

日までは間に合いません」と一言。最初からつまづく…。早速に新しい業者を探し、東京の業者にお願いすることに。業者は決まったものの、ここからも課題がありました。「あのキャラ」はほとんどデザインの原画が残っていないのです。原画がないので、参考にできるのは、国道の標識やバスに描かれているイラストのみ。それを参考に、着ぐるみでキャラを再現するのはとても難しい作業でした。業者にも、直接訪問して打ち合わせなどを重ねました。

そんなこんなで製作を進めると数カ月、課内での打ち合わせも数回行い、ゆるキャラが完成してきました。そんな多くの人の愛情が詰まったゆるキャラは、10月1日に行われる産業まつりでお披露目されます。

今後、いろいろな場所に登場する事になると思うので、皆さんから愛されるキャラクターになつてくれれば嬉しく思います。

みんなのひろば

広報の感想や日ごろの出来事、かわいいイラストなどをはがきに書いて送ってください。スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。

◆投稿するときの注意：①はがきの表には：住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます②はがきの裏には：イラストや感想などを書いてください

③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません④感想など、長い文章の場合、一部添削させていただきます◆あて先・問い合わせ先：〒028-8407 田野畑村役場政策推進課(☎34-2111 内線63)

はがき(表)の記入例です

田野畑村田野畑143-1
田野畑村役場政策推進課あて
田野畑村田野畑00-0
北山崎太郎(○歳)
34-00000

★仕事は？

4月から民俗資料館で働いています。ぎこちない案内でも「ありがとう」と笑顔で声を掛けてもらったときにやりがいを感じます。

★休日は何をしていますか？

映画や音楽の鑑賞をしたり、車の運転の練習をしています。

★今頑張っていることは？

昨年の4月に田野畑村民になったので、村や岩手県のことを勉強しています。

★最後に一言お願いします！

村に移住してから、いろいろな人に支えられて感謝しています。少しでも恩返しできるように頑張ります。皆さん民俗資料館に遊びに来てください。



泡淵^{まみ} 麻美さん(28)＝北山＝

わが家の
アイドル

齋藤^{たいら} 成くん(1歳9カ月)
剛さん・望さん＝菅窪＝

お母さんからのひとこと

車や鉄道のおもちゃが大好きです。性格は、おしゃべりで食いしん坊。協調性を持って、人から愛される子になってね。笑顔を忘れずに生きていってくれ!! 「笑う門には福来たる」だ(笑)

○ドローン操縦体験で感じたこと

9月16日に明戸キャンプ場でドローンの操縦を体験する催し物があり、村内外から多数の参加者に訪れて頂きました。

当日は、ゴーグルを付けてドローンのカメラの映像を目の前に映し出し、まるで空を飛んでいるような体験ができ、体験した方が「ジェットコースターより臨場感があって、降下するときは息をのんだ」と嬉しそうに話していました。

操縦の体験者のなかには、「ドローンで映した映像がどのように撮影できるかは円を描く操縦ができるかにある」と話している方がいました。

「四角の操縦は簡単で、映像としても魅力が半減する。八の字操縦とカメラの方向性をスムーズに回さない限り、人に見せる映像にならない」との会話を聞き、人が物事を見る姿勢は、第三者視線を持つて事に臨まなければならない。さらに、柔軟性がなければならぬと思いつつながら操縦体験をしてきました。

今の暮らしを上空から写真や映像に残す以外にも、ドローンはさまざまな機能を満載しているように感じます。



村長 石原弘の
村長コラム

37